

ふいんてっく通信

～ Vol.7 ～

キャッシュレス化の効果

Fintechとは、金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語です

nikko am
fund academy

今年10月の消費税増税に合わせて、キャッシュレス手段を使ったポイント還元が始まります。そこで今回は、キャッシュレス決済がもたらす具体的な効果などについてご紹介します。

■ キャッシュレス化による目に見える効果は？

最近、お買い物の支払いに、現金ではなくクレジットカードやQRコードなどを利用したキャッシュレス決済する光景を見かけるようになりました。

利用者は、現金なしで即時決済ができるようになり、店舗側は、利用者の消費行動などを分析して各種特典の配信などによる販売促進や会計業務の負担軽減など、双方にメリットをもたらしています。

【利用者・店舗の声】

利用者の5人中4人
キャッシュレス
決済は
現金より便利！

6割の人
週に1回以上
キャッシュレス
決済を利用

2人に1人
キャッシュレス
決済が使えない
と来店意欲減少

会計担当者の8割
キャッシュレス
決済を歓迎！

出所：JCBのキャッシュレス決済に関する調査(19年7月)より

※全国の20～60代の、一般消費者1,000名とコンビニ/居酒屋のレジ業務担当者+タクシー運転手300名を対象に、インターネット調査

【キャッシュレス化の効果 - 楽天の場合-】

店舗が「楽天Edy」導入で・・・ 会計処理時間が1/3に短縮！

「楽天Edy」の利用特典を厚くすると・・・

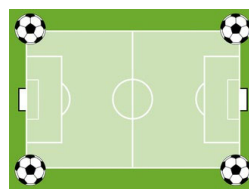
客単価(4%増) × 来店回数(72%増) = 顧客当たり月間単価は79%増！

※Edyとは、プリペイド型の電子マネーです

さらに、スタジアム内の購買を完全キャッシュレス化にすると・・・



飲食購入金額が
前年同期比
26.7%増



飲食購入金額が
前年同期比
50.2%増

※キャッシュレスイベント日の
前年同期比

この効果について、楽天は決済オペレーションの効率化によるものと説明しています。

出所：楽天オプティミズム2019 ビジネスカンファレンス、2019年7月31日の講演内容より

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものでもありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントがフィンテックに関する情報についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。